

# ナースコールシステム

令和7年3月

地方独立行政法人

市立東大阪医療センター

調達概要

NO	品名	台数	
ナースコールシステム 1式			
	ナースコールシステム		
1	ナースコール親機 (デスクトップPC型)	1	式
	設置場所 : ICU		
2	ナースコール親機 (ボード型)	11	式
	設置場所 : 9北・南、8北・南、7北・南、6北・南、5南、周産期、小児医療センター		
3	無停電電源装置	12	式
4	ナースコールサーバー (冗長構成)	1	式
5	ゲートウェイサーバー	1	式
6	メンテナンス用PC	1	式
7	ネットワーク機器	1	式
	制御システム		
8	廊下用液晶表示灯	232	式
9	共用部アダプター	64	式
10	共用部アダプター用代表廊下灯	73	式
11	共用部アダプター用復旧ボタン	62	式
12	ナースコールコンセント・子機	530	式
13	2口用センサー用コンセント	520	式
14	トイレ呼び出しボタン (紐付)	328	式
15	浴室用呼出引き輪	11	式
16	マイク・スピーカー付ナースコール押し釦	2	式
17	制御装置	12	式
18	制御装置用無停電電源装置	12	式
19	ナースコールネットワーク構築用L2スイッチ	1	式
20	離床CATCH用ナースコール中継ユニット	85	式
21	病棟用カメラ付きドアホン	11	式
	PBXまたはSIPサーバ		
22	PBXまたはスマートフォンゲートウェイ	1	式
23	ネットワーク機器	1	式
24	5年間利用ライセンス	1	式
	スマートフォン		
25	スマートフォン	150	式
26	スマートフォン用フィルム	150	式
27	スマートフォン用ケース	150	式
28	ストラップ	150	式

項番				要件
1				基本要件
1	1			システム構築要件
1	1	1		ナースコールシステムは、24時間365日、無停止で安定稼働できること。（但し、定期再起動、メンテナンスに伴う停止は例外として認めるものとする）
1	1	2		ハードウェア障害時にも業務継続できるよう、ナースコールサーバは冗長構成またはコールドスタンバイ機器配備とすること。冗長構成の詳細については提案資料として提示すること。なお、スマートフォンGWは冗長構成機器対象外とする。
1	2			サーバ環境構築
1	2	1		ナースコールシステムは専用ネットワークを構成し、当センターで別途調達しているサーバスイッチに、適切なルート設定および必要なポートのみを接続許可し、ACL制御を行う追加設定を施すこと。このために必要となるネットワーク構築事業者にかかる費用は本調達に含むこと。
1	2	2		ナースコールシステムでパフォーマンスの低下が生じていないかどうかを年1回以上の定期点検を実施する、または障害発生時のレポート通知機能にて検知し、問題発生時には改善策をすみやかに実施すること。なお、定期点検報告や障害報告時には、ディスクやメモリの使用状況等をまとめた資料を提供するものとする。
1	2	3		納入する機器は、設置までの間に装置の仕様変更やソフトウェア（OS、ミドルウェア(パッケージソフトウェアを除く)）のバージョンアップがあった場合には最新の仕様にするが情報管理課と相談すること。
1	3			リモートメンテナンス環境構築
1	3	1		独自にリモートメンテナンス用保守環境を準備する場合、応札時点で最新版の医療情報システム安全管理ガイドラインに準拠し、セキュアにナースコールシステムへの接続を行うこと。 リモートメンテナンス環境のために必要な光回線サービスの回線費用、VPN装置はすべて、本調達へ含めること。なお回線敷設スケジュールについては、当センター担当者との協議のうえ別途調整するものとする。 なお、当センターで別途調達している基盤システムのリモートメンテナンス環境を利用しても構わない。なお、その際には、基盤システム構築事業者にかかる追加設定作業費用は本調達に含むこと。
1	4			その他
1	4	1		当センターで別途調達している電子カルテシステムはNEC社製「MegaOak-HR」である。電子カルテシステムとナースコールシステムとの接続実績に基づいて接続し、接続仕様については当センター担当者の承認を得ること。なお、電子カルテシステム構築事業者にかかる接続作業費用は本調達に含むこと。
1	4	2		別途調達となっている電子カルテシステム更新に伴い、「MegaOakAssist らくらく看護師さん」ならびに「NECコミュニケーションサービス 医療版」が新規導入されるため、今回調達するスマートフォンで連携、稼働させること。また、「MegaOakAssist らくらく看護師さん」、「NECコミュニケーションサービス 医療版」については、評価機の設定はNEC社が実施する。その後、NEC社から提供される設定マニュアルを利用し、スマートフォン全台へのキッティング作業を本調達にて実施すること。なお、ナースコール用通話アプリのスマートフォン全台へのキッティング作業も本調達に含むこと。
1	4	3		ナースコールシステムとスマートフォン連動については、既存のHIS系無線AP配下で稼働させること。なお、有線LAN接続が必要となる場合、線材やネットワークスイッチ、配線費用を本調達に含むこと。
1	4	4		「MegaOakAssist らくらく看護師さん」を稼働するため、今回調達するスマートフォンで一次元バーコード認証（注射実施等）が業務に支障ないレスポンスで実施できるようアプリケーション納入設定事業者が動作検証する際に協力すること。なお、一次元バーコードを読み取るために必要なスマートフォン用ソフトウェアライセンスや専用周辺機器にかかる費用も本調達の対象範囲内とする。
1	4	5		応札時点で最新版の医療情報システム安全管理ガイドラインに遵守していること。なお、電子カルテ系端末については、定期的なOS等のアップデートを予定していることから、本調達範囲におけるシステム等についても、同様に適宜、アップデート対応を行うこと。
1	4	6		ナースステーションと各病室間のLAN線敷設工事は今回の調達範囲に含まれる。なお、HIS系NWの無線APの構築は、責任分界点の観点から、既存のHIS系NWベンダーで行うことから、両社協力のもと安定稼働できる環境を構築すること。
1	4	7		本調達に関連し、既存PBX（日立、富士通）と接続する提案を実施する場合、その接続にかかる経費については本調達に含むこと。
1	4	8		今回調達するスマートフォンについては、将来的にsXGP等の通話端末として活用できる機種を選定すること。
1	4	9		当センターが指定する既存のナースコール関連機器撤去費用を本調達に含めること。
1	4	10		将来的な看護師の負担軽減を見据え、「入院患者の状況が確認できるカメラ」及び「パラマウントベッド社のスマートベッドシステムシステム等」の導入が将来的に可能なこと。
1	4	11		本調達で手配するスマートフォンは、2025年9月に稼働する電子カルテシステムの稼働日にあわせて利用可能な状態とすること。本要件は必須要件である。また、ナースコール切り替えスケジュールを現行PHS環境と新スマートフォン環境の利用方法を踏まえ、更新スケジュール資料として提出すること。

項番						要件
2						役務要件
2	1					システム構築体制
2	1	1				ナースコールシステム設置に対する作業については、品質を担保するため、ナースコールシステムについて十分な経験と知識を有する技術者を担当者とする。
2	1	2				ナースコールシステムに対する作業については、スマートフォンやPBXとの連携品質を担保する、十分な音声統合ネットワーク知識を有する技術者を担当者とする。
2	1	3				ナースコールシステムに対する作業については、高度なセキュリティが求められる医療情報システムとの連携を行うため、作業は十分なセキュリティ知識を有する技術者を担当者とする。
2	2					設置作業要件
2	2	1				サーバ室設置調整作業
2	2	1	1			機器等の設置場所については、当センターと協議の上調整すること。
2	2	1	2			機器等の設置作業の日程と体制を事前に当センターに提示し、当センター担当者と協議を行った上、その指示によること。
2	2	1	3			機器等の搬入・設置作業にあたっては、病院業務への妨げや、患者への迷惑とならないよう、かつ、施設を毀損することのないよう十分な注意を払うとともに、受注者が立ち会うこと。
2	2	1	4			既設ラックを使用せず別途調達する場合は、地震による移動転倒を防ぐため、対策の必要な機器に関しては床に固定する等の対策をとること。
2	2	1	5			施工作業に際しては、コンセントから端末機器までの配線をタグにより明確に示し、かつ、通行に支障がないように配線すること。
2	3					ソフトウェア管理要件
2	3	1				サーバソフトウェアのインストール作業
2	3	1	1			サーバの基本ソフトウェアをインストールし、動作確認を行うこと。
2	3	1	2			協議内容、作業内容及び動作確認の結果を、それぞれ、完了後1週間以内に書面で報告し、当センターの承認を得ること。
2	4					稼働開始準備作業要件
2	4	1				全般事項
2	4	1	1			開発中にベンダが使用するプリンタ用紙、トナー等の費用は本調達に含むものとする。
2	4	1	2			稼働開始準備作業が完了し、本システムの稼働が確認された後は、保守等の作業に必要な機器等を除去し、速やかに撤収し原状に復すること。
2	5					保守要件
2	5	1				全般事項
2	5	1	1			保守の対象は、次の通りとする。
2	5	1	2			ハードウェアについては定期保守（「フルメンテナンス」を含む。以下同じ。）の対象とする。
2	5	1	3			保守に関する連絡窓口は24時間365日のコールセンターでの受付が可能であること。なお、スマートフォンゲートウェイについては、平日9時～18時での保守受付を可とする。
2	5	1	4			サーバ機器（ネットワーク機器含む）の保守要員は、緊急時には4時間以内で当センターに到着またはリモート保守により初期対応ができること。（スマートフォンゲートウェイを除く）
2	5	1	5			システムに障害が発生した場合、保守要員は、速やかに問題を切り分け、当センターにおける一時対応の指示を行った上で、復旧に必要な措置を講じること。また、速やかに原因を究明し、対応策及び再発防止策について、当センターに文書で報告すること。（スマートフォンゲートウェイを除く）
2	5	1	6			障害やバグ等が、当該システムと連携するシステム側（電子カルテシステムやPBX等）で発生している場合、別途当センター・当該システム事業者間で協議の上で、真摯に対応するよう、努めること。
2	5	2				ハードウェア保守要件
2	5	2	1			導入後、保守期間中に発見されたハードウェアの瑕疵対応については、本調達に含まれること。なお、瑕疵対応は当センター担当者との協議の上、その指示により修正すること。
2	5	2	2			ハードウェアについて、不具合が判明した場合は、当センターとの協議の上、必要部品、機器等の修理、交換等を行うこと。
2	5	3				稼働・導入に関する詳細協議・協力の責務
2	5	3	1			OSやアプリケーションの設定等は当センター担当者との協議を行い、当センターの指示に従うこと。
2	5	3	2			行った協議の議事録は受注者が作成し、1週間以内に当センターに提出し、その承認を得ること。
2	5	3	3			開発期間中、月1回以上、当センターが指定する会議において、進捗状況を報告すること。なお、遅滞が発見された場合は、その対処方法を報告すること。
2	5	3	4			稼働開始の際は、当センターの業務が円滑に移行及び遂行できるような体制を、具体的に書面で提出し、その承認を得ること。
2	5	3	5			稼働に至るスケジュールは、当センターの業務が円滑に移行及び遂行できるような内容とし、具体的に書面で提出し、その承認を得ること。
2	5	4				その他
2	5	4	1			システムの運用状況及び問題点の把握並びに改善策の提案を行うため、定期的に当センター担当者との会議を開催すること。なお、開催の頻度は、次の通りとする。
2	5	4	1	1		稼働後3ヶ月間は、1月に1回以上とする
2	5	4	1	2		稼働後3ヶ月経過後は、当センター担当者との協議のうえ頻度を決定する
2	5	4	2			システム運用、管理等に関する質問に対して、適切な回答、助言、提案等を行うこと。

項番					要件
3					システム要件
3	1				システム基本要件
3	1	1			ナースコールシステムとスマートフォン、また将来的に導入される見守りカメラおよびパラマウントベッド社製スマートベッドシステム等との連動により医療安全・業務軽減が期待できるナースコールシステムを導入することを基本要件とする。
3	2				ナースコールシステム
3	2	1			ナースコール親機は、ボード型またはデスクトップPC型親機とし、視認性の良いものであること。
3	2	2			ナースコール親機はタッチパネル機能を有すること。
3	2	3			ナースコール親機は、患者情報、呼出履歴、看護統計、受け持ち表示、ホワイトボード等を表示できること。物品管理まで表示できれば望ましい。
3	2	4			患者配列画面、病棟レイアウト画面に切り替えができること。
3	2	5			ナースコール呼出時には、ナースコール親機で患者氏名や患者情報を見ながら通話ができること。
3	2	6			ナースコール呼出時は、親機表示画面上に、患者氏名、呼出種別、部屋番号、ベッド番号を表示できること。
3	2	7			ナースコール親機のパネルに不具合があった場合でも、デジタル(LCD)表示部に患者氏名、呼出種別、部屋番号、ベッド番号等の情報を表示できること。
3	2	8			ナースコール親機には、特殊呼出スイッチ、ワイヤレス呼出ボタン、ベッドセンサー等の数量を管理する機能(以下「物品管理機能」という)を有し、ナースコール親機で使用状況や台数の確認ができることが望ましい。
3	2	9			物品管理機能では、特殊呼出スイッチ、ワイヤレス呼出ボタン、ベッドセンサー等の種類や数量を自動認識する機能有することが望ましい。
3	2	10			一斉放送、選局一斉、チーム別、選局呼出など状況に応じた放送が行なえること。
3	2	11			夜勤設定時は呼出時に、呼出音量、通話音量を自動的に下げられること。
3	2	12			患者ごとや呼出種別ごとに呼出音を自由に変更できること。
3	2	13			履歴情報として、ナースコール応答端末や応答時間の表示ができること。
3	2	14			ナースコール親機での着信履歴は200件以上であること。
3	2	15			ナースコール親機での着信音は24種以上であること。
3	2	16			ベッド毎に音量調節ができること。
3	2	17			ナースコール親機には、非常用電源装置(UPS)を接続すること。
3	2	18			感染症患者のベッド移動履歴を追跡ができ、過去に同室だった患者一覧を表示する機能を有することが望ましい。
3	2	19			ナースコール親機で巡視履歴を表示でき、入室時と退室時に巡視登録操作をした履歴集計することでその病室内に滞在した時間の可視化ができることが望ましい。
3	2	20			複数同時にモニタリングできる機能を有することが望ましい。
3	2	21			親機パネルでは、ベッドセンサーなどのセンサー機器をコンセントに差込だけで使用中表示ができる機能を有すること。機能実現のために専用機器が必要な場合は全ベッド分を本調達内に含むことが望ましい。
3	2	22			緊急性の高い呼出とそれ以外に関して、色分け表示ができること。
3	2	23			障害発生時など、パネル操作により故障機器が表示できること。
3	2	24			呼出中の患者情報を同時に4人以上ポップアップ表示できること。
3	2	25			同姓同名の患者は、待機画面上で判別できる表示機能を有していること。
3	2	26			病棟情報/空床数、移動情報、外出・外泊などの予定情報の表示について、電子カルテシステム構築事業者に連携仕様を確認のうえ、表示可能情報について提案資料として提示すること。
3	2	27			画面操作により、スマートフォンの担当割付け・チーム割付け・呼出スライド設定、及び日勤・準夜勤・夜勤の設定ができること。
3	2	28			勤務帯切替に連動して、夜間は自動的に呼出音量が下がること。
3	2	29			既存の離床センサーを接続し、呼出種別が区別できること。
3	2	30			手動設定にて、指定されたスマートフォンへ設定した時間に呼び出しを掛ける機能を有すること。
3	3				制御システム
3	3	1			制御機
3	3	1	1		通話単位は1ベッド1回線の呼出通話ができること。また、通話路数は同時4通話以上であること。
3	3	1	2		電話交換機等と接続を行い、本調達に含まれるスマートフォンと通話ができること。なお、本接続については、電話交換機保守業者と連携し当該作業を行う場合は、電話交換機側に要する全ての費用を本調達に含むこと。
3	3	1	3		APIによる他システム連携機能を有することが望ましい。
3	3	1	4		ナースコール制御装置に、非常用電源装置(UPS)を接続すること。
3	3	1	5		制御装置に障害があってもナースコール呼出を担保すること。機能実現のために専用機器が必要な場合は本調達内に含むこと。
3	3	2			液晶廊下灯、代表廊下灯・復旧ボタン
3	3	2	1		病室前に設置する廊下灯は、プライバシーを配慮した液晶廊下灯とし、呼出時に患者情報を表示できること。
3	3	2	2		液晶廊下灯に表示する情報は、患者氏名、呼出種別、診療科目、感染情報、救護区分等を表示できること。
3	3	2	3		液晶廊下灯部に表示するキャラクター表示は個別設定ができること。
3	3	2	4		患者情報を確認する場合は、スタッフが確認できるシークレットモードを有すること。また、ナースコール親機からでも、患者情報を常時表示させる機能を有すること。
3	3	2	5		シークレットモードから患者情報を表示する機能を有すること。
3	3	2	6		ナースコール呼出は、緊急度を廊下灯の表示色で識別できること。また、表示色の変更でき、呼出種別により変更できること。
3	3	2	7		液晶廊下灯より、呼出の復旧操作が行えること。
3	3	2	8		液晶廊下灯は消毒がしやすい構造になっていること。復旧ボタン部がある場合、接触の多い部品交換ができる構造であること。
3	3	2	9		患者・面会者・看護師に伝達する機能として、ナースコール親機から入力した情報(面会謝絶等のメッセージ)を液晶廊下灯に表示できること。
3	3	2	10		液晶廊下灯は5インチ以上のモニターとすること。
3	3	2	11		トイレ等の共用部は代表廊下灯とし、復旧ボタンを設置すること。

項番				要件
3	3	3		握り押しボタン
3	3	3	1	握り押しボタンのプラグ部分は、断線防止機能を有すること。
3	3	3	2	握り押しボタンは、常夜灯機能を有すること。またナースコール親機から常夜灯の入切ができる機能を有すること。
3	3	3	3	握り押しボタンは、握るだけで呼出しができること。
3	3	4		病室コンセント
3	3	4	1	病室コンセントは、ナースコールボタン、復旧ボタン、センサー接続端子、ハンド型子機用ハンガーを有すること。
3	3	4	2	センサー接続端子は、ベッドセンサーなどのセンサー機器を差込だけで親機に使用中表示ができる機能を有すること。機能実現のために専用機器が必要な場合は全ベッド分を本調達内を含むこと。
3	3	4	3	病室コンセントの接続端子は、マットセンサー、マットセンサー、特殊呼出しスイッチ、ワイヤレス呼出しボタン等を接続して利用できること。
3	3	4	4	病室コンセントの接続端子は、1ピンとし、どの方向からでも差し込むことができ、接続端子の破損を防ぐ構造であること。
3	3	4	5	既設のセンサー(マットセンサー、ベッドセンサー等)は、全て流用して利用できること。
3	3	5		トイレ呼び出しボタン
3	3	5	1	トイレ呼出ボタンは紐付きとし、紐を引くことでも呼出しができること。
3	4			ナースコールシステムと電子カルテシステムとの連携項目
3	4	1		ナースコールサーバーは、患者ID、患者氏名等の患者情報を取得できること。なお、連携項目の詳細については、当院と協議の上で指示に従うこと。
3	5			病室・共用部配線
3	5	1		病室内、共用部内の配線は既設を流用すること。流用できない場合は、新規に敷設すること。
3	5	2		電子カルテシステムとナースコールシステム間の接続・試験・調整を行うこと。
3	5	3		スマートフォンとナースコール間の通話について、接続・試験・調整を行うこと。
3	6			取付・試験調整
3	6	1		ナースコール親機の設置・接続・試験・調整を行うこと。
3	6	2		制御装置の設置・接続・試験・調整を行うこと。
3	6	3		親機・制御装置・アダプター・共用部アダプタとの接続・試験・調整を行うこと。
3	6	4		アダプターと病室ベッド子機間、アダプターとトイレボタン間の設置・接続・試験・調整を行うこと。
3	6	5		共用部アダプタと廊下灯、復旧ボタン、呼出ボタン間の設置・接続・試験・調整を行うこと。
3	6	6		スイッチングHUBは、新設のラック又は壁面取付として収めること。
3	6	7		ラックは設置場所に依り、次回切り替えを考慮した高さのラックを選定して設置すること。
3	6	8		ラックは当センターと協議の上、サーバー室内及び指定するEPS内に設置すること。
3	6	9		ラック内に収納できない場所での機器の設置は壁面取付とし、木板若しくは壁面に適切な金具等を使用して取付すること。
3	6	10		ラック内の電源コンセント、棚板及びケーブル整線パネル等は必要数を用意すること。
3	6	11		ラックは転倒防止の施工をすること。
3	6	12		ラック設置に伴う、電源費用を含むこと。
3	6	13		EPS内のラック下部には、無停電電源装置を設置すること。
3	7			データ解析機能
3	7	1		ナースコール履歴データを活用し、病棟業務の見える化等、業務改善に役立つ機能を有すること。
3	7	2		ナースコール呼出日時の自動集計及び対応者、呼出理由が手動登録できること。
3	7	3		患者別、病棟別、理由別、期間別に呼出履歴を集計しグラフにて参照できること。
3	7	4		ナースコール呼出応答時間(時間別、病棟別)の集計ができること。
3	7	5		別途調達しているGE社製コマンドセンターシステムに解析用データを開示または送信する機能を有すること。
3	7	6		病院全体における履歴のCSVを、病院で利活用できるように提供すること。またCSVを解析するソフトを提供すること。
3	8			PBXまたはSIPサーバ
3	8	1		ナースコールシステムと連携し、ナースコールからの呼び出しに対する音声通話を可能とすること。
3	8	2		スマートフォン端末間で内線電話機能を提供できるスマートフォン用アプリケーションの提供が可能であること。
3	8	3		稼働時、150台のスマートフォンが接続可能であること。また将来、300台までのスマートフォンとの接続拡張に対応すること。
3	8	4		1台で最大同時通話数を50通話以上可能であること。
3	8	5		1病棟あたり最大16台のスマートフォンを同時にナースコール呼出できること。
3	8	6		将来的にPBX連携し、外線や内線との通話を実現する際には、発着信/保留/転送など様々なPBXサービスの機能を利用可能であること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	7		内線条件として、スマートフォン内線アプリは150ライセンス以上利用できること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	8		ナースコール制御機は12台(12病棟)とする。なお、制御器が1台で12病棟をカバーできる場合は1台でも可とする。
3	8	9		フレキシブルキー機能を有し、フレキシブルキーに電話番号を登録することができ、ワンタッチで発信が可能であること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	10		直前に発信した相手や発着信履歴から相手を選択し発信が可能であること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	11		電話番号を押下して発信が可能であること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	12		過去の着信応答、未応答の履歴を残す機能を有すること。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)
3	8	13		個別の内線を呼び出し、自動応答する機能を有すること。スピーカーを自動応答させることが望ましい。(本仕様は、SIPサーバを提案する場合は対象外とする。)

項番				要件
3	9			スマートフォン
3	9	1		AndroidまたはiOSを有すること。なお、電子カルテシステム事業者が要求するバージョン以上のOSを設定すること。
3	9	2		対角4.7インチ以上のディスプレイサイズであること。
3	9	3		容量は64GB以上であること。
3	9	4		メインカメラは5M画素以上であること。
3	9	5		一次元バーコードおよびQRコードを読み取れる機能を有すること。なお、コード読み取りについては、業務に支障のない操作性、取り込み速度であることを当センター担当者に承認を得ること。
3	9	6		スマートフォンケースおよび液晶用保護フィルムを本調達に含むこと。納品時にはこれらの周辺機器をセットした状態で納品すること。提案物品については、当センター担当者に承認を得ること。
3	9	7		肩掛けしてポケットに収納できる長さを確保できるストラップに含むこと。提案物品については、当センター担当者に承認を得ること。
3	10			MDM（スマートフォン管理ツール）
3	10	1		下記仕様を満たすスマートフォン管理ツールを本調達にて調達するスマートフォンにインストール・セットアップを実施すること。
3	10	2		管理者が、端末を遠隔で初期化、端末内の設定、データの遠隔削除が行えること。
3	10	3		管理者が端末にインストールされているアプリケーションを一覧で表示できること。
3	10	4		近畿地方内の医療機関において、200台以上管理の導入実績を有すること。
3	10	5		別途専用の管理端末を用意したり、専用管理プログラムをインストールしたりすることなく、既存端末のWebブラウザから管理が行えること。
3	10	6		端末を利用するユーザー（利用者）を登録できること。また、組織（グループ）とユーザーを紐づけて管理できること。既存のActiveDirectory設定の利用も可とする。
3	10	7		端末やユーザーをグループに分けてグループ単位で一元的に設定を適用できること。なお、階層構造を作ることができることが望ましい。
3	10	8		登録された端末の情報に、利用設置場所やIT資産管理番号などの任意の項目を登録できること。なお、プルダウン選択による入力か自由入力かを指定できることが望ましい。
3	10	9		アプリケーションの配信状況や設定内容の適用状況等、端末ごとに管理画面で閲覧できること。また、検索結果をCSVファイルとして出力できること。なお、その際に期間や端末名など条件を指定して検索できることが望ましい。
3	10	10		一定期間通信が行われていない、Jailbreakされた、必要なアプリケーションがインストールされていないといったことを管理画面で確認できること。なお、左記の状況を検知し、設定により管理者などにメールで通知できる機能を有することが望ましい。
3	10	11		本調達で配備するスマートフォンのOSに対応していること。なお、将来、別目的で調達するスマートフォンが追加されることを考慮し、マルチOS対応であることが望ましい。
3	10	12		管理画面、エージェントアプリ、マニュアル、サポートは日本語表示であること。
3	10	13		機能や操作方法についての問い合わせにメールや電話で対応できる常設のサポート窓口があること。
3	10	14		アプリケーションの起動を禁止できること。インハウスアプリ、ストアアプリのどちらにも対応すること。
3	10	15		管理画面から指定した端末に対し、指定したアプリケーションをリモートから配布できること。
3	10	16		紛失や盗難対策として、位置情報の把握、リモートロック、リモートワイプができること。 なお、リモートロックにおいて、独自のロック画面を表示でき、管理者からの解除コードを使ったロック解除や、管理者からのメッセージ表示ができることが望ましい。
3	10	17		Wi-Fi設定、接続を許可するWi-Fiの指定ができること。
3	10	18		ストアを禁止にした状態でアプリケーションのPushインストールが可能なが望ましい。